



東名相良 牧之原IC 北側地区 造成工事が完成

問い合わせ
新拠点整備室 市川
☎②3333

東名相良牧之原IC北側地区の開発は、総合計画の重点戦略「富士山型ネットワークの充実」に位置付けられ、牧之原市IC北側土地区画整理組合の皆さんと共に、新たな拠点づくりに取り組んでいます。

土地区画整理組合は、このほど、令和5年3月に着手した道路や調整池の新設、商業・産業用地の整備などの造成工事を完了しました。今後、用地を取得する事業者などと協力し、にぎわいや雇用の場の創出、移住・定住人口の拡大などを実現する「魅力あるまちづくり」を進めていきます。

9月28日には、「造成工事竣工式」が執り行われ、組合役員や来賓、施工者など約60人が出席しました。式では無事故による工事の完成を祝い、関係者への感謝が伝えられると共に、これからのまちづくりへの期待も述べられました。



竣工式での記念撮影

理事長ごあいさつ

平成29年の準備組合発足から約9年、令和5年1月の組合設立から2年9カ月を経て、「新たなまちの姿」が見えてきました。県や市、地域の皆さまには、長きにわたりご支援いただきましたこと、心より感謝いたします。今後も組合員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



牧之原市IC北側土地区画整理組合 鈴木芳明理事長



土地区画整理事業の概要

施行地区	牧之原市東萩間地内(約22.59ha)
組合員数	29人(組合設立時113人)
施行期間	令和5年1月10日～令和10年3月31日(予定)
事業費	32億5,900万円

施工内容			施工内容		
宅地	①商業街区	100,941 m ²	道路	幅員14m	343.1m
	②産業街区	66,519 m ²		幅員11m	512.9m
	③住宅街区	19,835 m ²		幅員9m	524.3m
	合計	187,295 m ²		幅員8m	80.2m
公園	第一公園	4,762 m ²		幅員6m	815.0m
	第二公園	2,100 m ²		幅員4m	28.8m
調整池	第一調整池	8,608 m ²	水道管		1,699.4m
	第二調整池	2,070 m ²	放流管		260m
その他	墓地など	626.98 m ²			



「まきチャレ」とは、市の地域経済の活性化のために市内の地域資源を活用して、自らの事業を発展させるビジネスプランを国内外から募る革新的な事業です。スタートアップ企業（新興企業）と地域の企業が協力して新たな事業を生み出し、市から全国、世界へと飛び出す事業者や産業を創出すること、そして、スタートアップ企業と地域の企業が共に成長することが目的です。

問い合わせ 商工企業課 大石 ☎③2647

まきチャレ2025を開催しました

4回目の開催となる今回は、過去最多となる168件(国内95件、海外73件)の事業者からエントリーがあり、特に海外からのエントリーが多く、世界中から注目されるビジネスプランコンテストとなりました。書類による一次審査、審査員との面談による二次審査を経て、最終審査となるオープンピッチ（オンラインでの公開プレゼン）を実施。表彰式では審査結果の発表のほか、初の試みとなる地元の榛原・相良高校生によるビジネスプランの発表「Jr. まきチャレ」も開催し、合計5チームが高校生ならではの視点でビジネスプランを発表しました。今後、市が支援し、受賞した企業は市内での事業開始を目指していきます。

まきチャレ2025 受賞者一覧

受賞	企業名	地域	ビジネス概要
まきチャレ大賞	roly-poly Organics	静岡県	ダンゴムシの特性を生かして廃棄物から高品質有機肥料をつくる独自技術のアップサイクル事業
まきチャレ準大賞	(株)Nebraska	東京都	小売店の24時間オペレーションによる収益増と人件費削減を実現する店舗無人化支援システムの提供
市長特別賞	glafit(株)	和歌山県	各種電動モビリティの整備を通じた地方都市交通の課題解決事業
	(株)SUN Reality	東京都	体験型オリジナル DX 教材の開発による「ワクワク・ドキドキ」体験教育の提供
大和ハウス工業賞	(株)スペース	愛知県	商流と物流の統合設計と中継物流マッチングアプリ「ドラ基地」による物流イノベーション事業
静岡銀行賞	roly-poly Organics	静岡県	(まきチャレ大賞受賞)
インフィック賞	(株)きやりこん.com	神奈川県	キャリアコンサルタントとの全社員オンライン1on1ツール「toHanasu」による社員メンタルヘルスケア事業
SVSA賞	(株)dozo	静岡県	お茶×お酒のティールコールの販売ならびに開発マーケティング事業
MIC賞	WAH Care	インド	幼児期の能力開発と発達障害の軽減を目的とした脳のAI訓練プログラムのプラットフォーム
一般協賛企業者賞	(株)KAMAMESHI	東京都	製造業のパーツシェアリングのプラットフォーム事業
	Zero G Tec Co.,Ltd	韓国	人間工学（エルゴノミクス）理論に基づき使い勝手を徹底追求する製品開発。ZeroG Ball の開発製造元
視聴者賞	(株)スペース	愛知県	(大和ハウス賞受賞)
Jr. まきチャレ大賞	Preventea	榛原高校	お茶を活用した非常食らしくない非常食を開発することで無意識的に非常食を備えておける防災対策

まきチャレ2025の詳しい発表内容や資料、動画などは、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ